



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月1日

上場会社名 伊藤ハム米久ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2296 URL <https://www.itoham-yonekyu-holdings.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦田 寛之
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 篠原 栄晃 TEL 03-5723-6892
 定時株主総会開催予定日 2026年6月19日 配当支払開始予定日 2026年6月4日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月18日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	1,071,381	8.4	28,456	45.4	30,395	46.5	20,225	54.4
2025年3月期	988,771	3.5	19,576	△12.4	20,750	△20.3	13,097	△15.8

(注) 包括利益 2026年3月期 27,337百万円(127.3%) 2025年3月期 12,028百万円(△49.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	356.43	356.31	7.0	6.1	2.7
2025年3月期	230.88	230.80	4.6	4.5	2.0

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 1,674百万円 2025年3月期 1,194百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	524,726	295,509	56.2	5,193.66
2025年3月期	467,009	286,318	61.1	5,033.02

(参考) 自己資本 2026年3月期 294,743百万円 2025年3月期 285,542百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	13,663	△26,013	8,523	17,572
2025年3月期	10,016	△20,642	7,468	20,581

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金 総額 (合計)	配当性向 (連結)	株主資本 配当率 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計				
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%	%
2025年3月期	—	70.00	—	75.00	145.00	8,226	62.8	3.1	2.9
2026年3月期	85.00	70.00	90.00	75.00	320.00	18,158	89.8	6.8	6.3
2027年3月期(予想)	—	75.00	—	80.00	155.00		47.5	3.2	

(注1) 2026年3月期配当金の内訳 第1四半期末: 記念配当 85円、第2四半期末: 普通配当 70円
第3四半期末: 記念配当 90円、期末: 普通配当 75円

(注2) 中期経営計画2026において、普通配当を対象としてD0E(株主資本配当率)3.0%以上かつ累進配当を配当方針に掲げています。普通配当の2026年3月期年間配当金は1株当たり145円、株主資本配当率(連結)は3.1%です。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	510,000	△6.0	13,800	4.9	14,000	2.7	9,500	△0.1	167.41
通 期	1,040,000	△2.9	27,000	△5.1	28,000	△7.9	18,500	△8.5	326.01

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期	57,471,011株	2025年3月期	57,471,011株
2026年3月期	720,439株	2025年3月期	737,248株
2026年3月期	56,745,899株	2025年3月期	56,729,169株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	595,695	1.9	1,680	—	11,086	187.1	10,067	314.7
2025年3月期	584,695	10.4	△647	—	3,860	△73.4	2,427	△94.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	177.41	177.35
2025年3月期	42.80	42.78

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	353,100	222,011	62.9	3,910.87
2025年3月期	324,460	229,540	70.7	4,044.74

(参考) 自己資本 2026年3月期 221,944百万円 2025年3月期 229,473百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法、決算説明会の開催予定)

本日、決算説明資料をTNetに開示し、当社ウェブサイトに掲載した上で、2026年5月8日（金）に決算説明会を開催します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

◇連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
1,071,381	8.4	28,456	45.4	30,395	46.5	20,225	54.4

原材料価格の高止まりや物流費の上昇が続く厳しい事業環境の中、食肉事業における国内生産事業及び海外事業の収益性改善等により、売上高及び各段階利益はともに増加しました。

なお、第1四半期連結会計期間より、連結子会社のアンズコフーズ及びその子会社の決算期を12月31日から3月31日に変更し連結決算日と同一としたため、当連結損益計算書には当該子会社の15か月間の成績が含まれています。

◇報告セグメント別の経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益	
	百万円	%	百万円	%
加工食品事業	398,553	△0.6	9,410	△3.1
食肉事業	672,814	14.4	22,624	84.3

<加工食品事業>

- ・ハム・ソーセージは、家庭用主力商品のブランド力強化と市場シェアの拡大を図り、調理加工食品は、消費者ニーズの多様化に対応した商品群の販売に努めましたが、消費者需要の低迷を受けて販売数量が減少したことから、加工食品事業の売上高は減少しました。
- ・商品新陳代謝の推進やコスト削減等に取り組みましたが、原材料費及び物流単価の上昇の影響等により、加工食品事業の経常利益は減少しました。

<食肉事業>

- ・国内事業は、国産鶏肉の相場上昇による生産事業の収益性改善に加え、国産豚肉のリスク管理強化による採算性改善等が、物流単価上昇の影響等をカバーしたことから、売上高、経常利益ともに増加しました。
- ・海外事業は、アンズコフーズにおいて、決算期変更の影響に加え、北米向け牛肉販売及び欧州向け羊肉販売の収益性が改善したことから、売上高、経常利益ともに増加しました。
- ・上記の結果、食肉事業全体で増収増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

- ・総資産は、前連結会計年度末に比べて57,717百万円増加し、524,726百万円となりました。
増加要因：売掛金、棚卸資産、有形固定資産の増加
- ・負債は、前連結会計年度末に比べて48,525百万円増加し、229,217百万円となりました。
増加要因：買掛金、短期借入金、長期借入金の増加
- ・純資産は、前連結会計年度末に比べて9,191百万円増加し、295,509百万円となりました。
増加要因：利益剰余金、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の増加

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

- 現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べて3,008百万円減少（前期は2,336百万円減少）し、17,572百万円となりました。
- 営業活動により、資金は13,663百万円増加（前期は10,016百万円増加）しました。
増加要因：税金等調整前当期純利益の計上、仕入債務の増加
減少要因：棚卸資産の増加、売上債権の増加
- 投資活動により、資金は26,013百万円減少（前期は20,642百万円減少）しました。
減少要因：有形固定資産の取得による支出
- 財務活動により、資金は8,523百万円増加（前期は7,468百万円増加）しました。
増加要因：短期借入金、長期借入金の増加
減少要因：配当金の支払

(4) 今後の見通し

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
2027年3月期(予想)	1,040,000	27,000	28,000	18,500	326.01
2026年3月期	1,071,381	28,456	30,395	20,225	356.43
増減率(%)	△2.9	△5.1	△7.9	△8.5	

- 今後の事業環境は、物価上昇の影響を受けた消費者の節約志向が継続することが想定されるほか、地政学リスクや為替動向などを背景に、先行き不透明な状況が続くものと見込んでいます。地政学リスクについては、中東情勢を背景とした原油価格やエネルギー供給、資材等の調達環境への影響に対し、現時点で想定し得る状況を一定程度見込んだうえで業績予想を策定しています。
- 上記に加え、当業界においても原材料価格の上昇が見込まれており、厳しい経営環境が続くものと考えています。
- このような環境の下、当社グループにおいては、「長期経営戦略2035」及び「中期経営計画2026」に基づき、収益力の強化と持続的成長に向けた事業基盤の確立を最重要課題として、商品新陳代謝の加速、生産コストの削減、リスク管理の高度化等各種取り組みを通して、安定的な収益の確保を目指します。
- 「中期経営計画2026」において掲げた、普通配当を対象としてDOE(株主資本配当率)3.0%以上かつ累進配当の配当方針に基づき、2027年3月期の配当金は1株当たり155円（中間配当75円、期末配当80円）を予定しています。

※経営成績等の概況の詳細については、本日TDnetで開示した決算説明資料をご覧ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,989	17,980
受取手形	50	34
売掛金	103,173	112,224
商品及び製品	116,146	138,401
仕掛品	1,989	1,882
原材料及び貯蔵品	25,232	31,860
その他	9,718	9,120
貸倒引当金	△72	△75
流動資産合計	277,227	311,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	111,899	114,311
減価償却累計額	△74,896	△77,678
建物及び構築物（純額）	37,002	36,633
機械装置及び運搬具	146,194	153,397
減価償却累計額	△113,997	△118,842
機械装置及び運搬具（純額）	32,196	34,555
工具、器具及び備品	7,958	8,224
減価償却累計額	△6,296	△6,603
工具、器具及び備品（純額）	1,662	1,621
土地	26,390	26,184
リース資産	7,601	8,307
減価償却累計額	△4,748	△4,727
リース資産（純額）	2,852	3,579
建設仮勘定	9,470	19,246
その他	186	126
減価償却累計額	△92	△71
その他（純額）	93	55
有形固定資産合計	109,668	121,875
無形固定資産		
のれん	15,184	13,605
その他	10,284	12,420
無形固定資産合計	25,469	26,026
投資その他の資産		
投資有価証券	33,322	39,701
長期貸付金	1,233	1,322
繰延税金資産	1,186	1,133
退職給付に係る資産	14,487	17,332
その他	5,191	6,060
貸倒引当金	△775	△152
投資その他の資産合計	54,644	65,397
固定資産合計	189,782	213,298
資産合計	467,009	524,726

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	65,195	74,818
電子記録債務	1,033	—
短期借入金	39,093	58,391
1年内返済予定の長期借入金	100	100
リース債務	883	1,027
未払金	24,544	26,888
未払法人税等	1,971	6,977
未払消費税等	856	997
賞与引当金	5,591	7,298
役員賞与引当金	134	163
その他	5,034	4,755
流動負債合計	144,439	181,418
固定負債		
長期借入金	20,240	30,140
リース債務	2,228	2,662
繰延税金負債	8,457	10,080
退職給付に係る負債	1,514	1,499
資産除去債務	1,269	1,184
その他	2,542	2,230
固定負債合計	36,252	47,799
負債合計	180,691	229,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,003	30,003
資本剰余金	89,442	89,464
利益剰余金	150,821	152,889
自己株式	△2,723	△2,663
株主資本合計	267,543	269,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,963	12,454
繰延ヘッジ損益	△887	△464
為替換算調整勘定	7,045	9,968
退職給付に係る調整累計額	2,877	3,089
その他の包括利益累計額合計	17,998	25,049
新株予約権	66	66
非支配株主持分	708	699
純資産合計	286,318	295,509
負債純資産合計	467,009	524,726

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	988,771	1,071,381
売上原価	855,499	924,902
売上総利益	133,272	146,478
販売費及び一般管理費	113,695	118,022
営業利益	19,576	28,456
営業外収益		
受取利息	240	234
受取配当金	419	406
受取賃貸料	450	402
受取保険金	163	181
助成金収入	497	778
持分法による投資利益	1,194	1,674
その他	778	882
営業外収益合計	3,744	4,560
営業外費用		
支払利息	2,279	2,414
不動産賃貸費用	137	116
その他	153	91
営業外費用合計	2,570	2,622
経常利益	20,750	30,395
特別利益		
固定資産売却益	99	31
投資有価証券売却益	312	266
設備補助金収入	100	400
退職給付信託返還益	160	—
その他	0	4
特別利益合計	672	702
特別損失		
固定資産除却損	376	347
減損損失	1,551	576
固定資産圧縮損	87	321
工場閉鎖関連損失	—	158
その他	153	135
特別損失合計	2,169	1,539
税金等調整前当期純利益	19,253	29,558
法人税、住民税及び事業税	4,496	9,598
法人税等調整額	1,587	△299
法人税等合計	6,083	9,298
当期純利益	13,170	20,259
非支配株主に帰属する当期純利益	72	33
親会社株主に帰属する当期純利益	13,097	20,225

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	13,170	20,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△265	3,491
繰延ヘッジ損益	△521	423
為替換算調整勘定	910	2,226
退職給付に係る調整額	△1,143	173
持分法適用会社に対する持分相当額	△122	762
その他の包括利益合計	△1,141	7,077
包括利益	12,028	27,337
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	11,904	27,276
非支配株主に係る包括利益	123	60

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,003	89,430	148,784	△2,793	265,424
当期変動額					
剰余金の配当			△11,060		△11,060
親会社株主に帰属する 当期純利益			13,097		13,097
自己株式の取得				△3	△3
自己株式の処分		12		73	85
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	12	2,036	69	2,118
当期末残高	30,003	89,442	150,821	△2,723	267,543

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	9,228	△366	6,309	4,019	19,191	77	632	285,326
当期変動額								
剰余金の配当								△11,060
親会社株主に帰属する 当期純利益								13,097
自己株式の取得								△3
自己株式の処分								85
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△265	△521	736	△1,142	△1,192	△10	76	△1,126
当期変動額合計	△265	△521	736	△1,142	△1,192	△10	76	992
当期末残高	8,963	△887	7,045	2,877	17,998	66	708	286,318

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,003	89,442	150,821	△2,723	267,543
当期変動額					
剰余金の配当			△18,157		△18,157
親会社株主に帰属する 当期純利益			20,225		20,225
自己株式の取得				△5	△5
自己株式の処分		21		65	87
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	21	2,068	60	2,150
当期末残高	30,003	89,464	152,889	△2,663	269,693

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	8,963	△887	7,045	2,877	17,998	66	708	286,318
当期変動額								
剰余金の配当								△18,157
親会社株主に帰属する 当期純利益								20,225
自己株式の取得								△5
自己株式の処分								87
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	3,491	423	2,922	212	7,050		△9	7,040
当期変動額合計	3,491	423	2,922	212	7,050	—	△9	9,191
当期末残高	12,454	△464	9,968	3,089	25,049	66	699	295,509

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	19,253	29,558
減価償却費	13,010	13,691
減損損失	1,551	576
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△775	1,705
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	40	△620
のれん償却額	1,607	1,604
受取利息及び受取配当金	△660	△640
支払利息	2,279	2,414
受取保険金	△163	△181
助成金収入	△497	△778
持分法による投資損益 (△は益)	△1,194	△1,674
投資有価証券売却損益 (△は益)	△311	△266
固定資産除却損	376	347
退職給付信託返還益	△160	—
設備補助金収入	△100	△400
固定資産圧縮損	87	321
工場閉鎖関連損失	—	158
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△18,069	△27,336
売上債権の増減額 (△は増加)	7,777	△8,374
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,975	7,985
未払金の増減額 (△は減少)	△3,312	1,760
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△82	7
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	2,676	△2,614
その他	93	△277
小計	14,450	16,970
利息及び配当金の受取額	1,694	1,686
保険金の受取額	164	181
助成金の受取額	489	485
設備補助金の受取額	—	500
利息の支払額	△2,276	△2,360
工場閉鎖関連損失の支払額	△44	△14
法人税等の支払額	△4,460	△3,785
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,016	13,663
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,568	△22,945
有形固定資産の除却による支出	△801	△256
有形固定資産の売却による収入	384	185
無形固定資産の取得による支出	△2,693	△2,890
投資有価証券の取得による支出	△42	△34
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,389	417
貸付けによる支出	△237	△329
貸付金の回収による収入	242	239
その他	△316	△399
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,642	△26,013

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△311	18,203
長期借入れによる収入	20,000	10,000
長期借入金の返済による支出	△106	△100
自己株式の取得による支出	△3	△5
配当金の支払額	△11,048	△18,105
リース債務の返済による支出	△1,013	△1,399
その他	△47	△69
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,468	8,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	820	817
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,336	△3,008
現金及び現金同等物の期首残高	22,917	20,581
現金及び現金同等物の期末残高	20,581	17,572

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において独立掲記していた「特別損失」の「投資有価証券売却損」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しています。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っています。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「特別損失」に表示していた「投資有価証券売却損」0百万円は、「その他」に含めて表示しています。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

当連結会計年度より、実態に即した経営情報を把握し、連結財務諸表をより適切な開示とするため、連結子会社のアンズコフーズ及びその子会社21社並びにイトウハムアメリカの決算期を12月31日から3月31日に変更し、連結決算日と同一としています。この決算期変更に伴い、当連結会計年度における当該子会社の会計期間は15か月間となり、決算期変更に伴う影響額は連結損益計算書を通じて調整しています。

なお、アンズコフーズ及びその子会社21社の2025年1月1日から2025年3月31日までの売上高は40,580百万円、営業利益は1,300百万円、経常利益は1,105百万円、税金等調整前当期純利益は1,104百万円です。また、イトウハムアメリカの決算期変更による当連結会計年度の損益に与える影響は軽微です。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、主にハム・ソーセージ及び調理加工食品等の製造、販売を事業領域とする「加工食品事業」と主に食肉の生産、処理加工及び販売を事業領域とする「食肉事業」の2つを報告セグメントとしています。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より経費の負担部門変更に伴い、一部費用の加工食品事業、食肉事業間での配分の見直しを行っています。なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理方法と概ね同一です。報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値です。セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格等に基づいています。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額 (注)3
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	400,872	587,883	988,756	15	988,771	—	988,771
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36,188	78,274	114,462	937	115,400	△115,400	—
計	437,060	666,157	1,103,218	953	1,104,172	△115,400	988,771
セグメント利益	9,715	12,275	21,990	65	22,056	△1,305	20,750
セグメント資産	158,106	256,288	414,394	143	414,537	52,471	467,009
その他の項目							
減価償却費	7,046	5,288	12,334	4	12,338	613	12,951
のれんの償却額	—	218	218	—	218	1,389	1,607
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	15,641	5,763	21,405	—	21,405	331	21,736

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人事給与関連業務サービス等です。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) セグメント利益の調整額の主な内容は、のれんの償却額△1,389百万円等です。

(2) セグメント資産の調整額52,471百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれています。全社資産の主なものは、現金及び預金10,323百万円、投資その他の資産20,698百万円、のれん13,890百万円等です。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額331百万円は、主に各セグメントに配分していない全社資産の増加額です。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額 (注)3
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	398,553	672,814	1,071,367	14	1,071,381	—	1,071,381
セグメント間の内部 売上高又は振替高	35,909	77,162	113,071	922	113,994	△113,994	—
計	434,462	749,976	1,184,438	936	1,185,375	△113,994	1,071,381
セグメント利益	9,410	22,624	32,034	70	32,105	△1,709	30,395
セグメント資産	172,614	295,719	468,333	149	468,482	56,243	524,726
その他の項目							
減価償却費	7,105	5,890	12,996	2	12,999	638	13,637
のれんの償却額	—	215	215	—	215	1,389	1,604
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	20,072	7,529	27,601	—	27,601	971	28,573

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人事給与関連業務サービス等です。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) セグメント利益の調整額の主な内容は、のれんの償却額△1,389百万円等です。

(2) セグメント資産の調整額56,243百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれています。全社資産の主なものは、現金及び預金10,058百万円、投資その他の資産27,114百万円、のれん12,501百万円等です。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額971百万円は、主に各セグメントに配分していない全社資産の増加額です。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	5,033.02円	5,193.66円
1株当たり当期純利益	230.88円	356.43円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	230.80円	356.31円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当連結会計年度末 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	286,318	295,509
純資産の部の合計から控除する金額(百万円)	775	766
(うち新株予約権(百万円))	(66)	(66)
(うち非支配株主持分(百万円))	(708)	(699)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	285,542	294,743
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	56,733	56,750

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	13,097	20,225
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	13,097	20,225
普通株式の期中平均株式数(千株)	56,729	56,745
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	18	17
(うち新株予約権(千株))	(18)	(17)
希薄化効果を有しないため、 潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含め なかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。